

## 第2.3回 総合振興計画審議会 後期基本計画（案）におけるご意見等について

番号	ページ	行	ご意見やご質問	対応	
				部署	回答
1	5		「年少人口」、「生産年齢人口」、「老年人口」ということが書かれてあるが、人生100年といわれている中で、65歳の人口をひとくくりにするのではなくて、もう少し細かく分けてみては。	企画課	国勢調査の集計データがこのような形となっていることから、詳細なデータがないため、現状の3区分別人口という区分の仕方で行きたいと思います。
2	6		食料自給率について、現在どうなっており、将来どのあたりを目指しているのか(例えば農業者数が何名とか)ということが分かればイメージが湧きやすいと思う。	企画課	高知県の食料自給率はカロリーベースで43%<国は37%>となっております。ただ、市町村ごとに発表されたものがないため、四万十町の自給率ということで数字を出すのが難しいと考えています。
3	10		住民意向のところですが、こういった調査を今後する予定があるかないか	企画	2年に1度住民アンケートを実施するようにしており、質問内容は変わるが、今年度も実施予定です。
4	13	上から4行目	高度情報化のさらなる進展のところ、新型コロナウイルスの感染拡大の防止の観点からと記述がありますが、四万十町でのワクチン接種率は。	町長	高齢者7500人を対象に、7月末で約6600人が接種をしております。現在65歳以下の方も順次接種を進めておりまして、現在約8500人が接種をしている状況です。
5	24		24、25ページのSDGsの対応表なんですが、もう少し検討されたら良いかと思えます。例えば、施策目標(15)の障がい福祉の充実のところ、「すべての人に健康と福祉を」が入っていなかったりということもありますので再度見直ししていただけたらと思えます。	企画課	見直しいたします。
6	28	上から13行目	環境保全型農業とはどのようなものですか。	農林水産課	一般的に慣行農法で使われている農薬や化学肥料の使用量を低減させていたく農法のことです。

7	29	上から2行目	担い手の育成と経営体の強化というところで、担い手の経営力の強化を図りますという記述がありますが、具体的にどういったことで経営力の強化を図っているのか。	農林水産課	担い手の捉え方として、1つは、新規就農者の支援ということで、もう1つは集落営農組織の強化や、営農支援センター等の強化を考えているところです。
8	29	上から11行目	高度環境制御技術とはどのようなものですか。	農林水産課	作物の生育期で重要となる温度や湿度を一定に保ったり、光合成に必要な二酸化炭素の供給などを自動で管理する技術のこと。（ハウスでの野菜の栽培に使われます）
9	30		水産業の振興のところで、従事者を増やしていくという言葉がないように思うが、従事者は十分確保できているのでしょうか。	農林水産課	漁業全体として振興していくことで、従事者や雇用者を増やしていくということでございますが、なお方針のところに、新規就漁者の確保育成という文言を追加します。
10	30	下から2行目	水産資源が減少しておりとありますが要因がわかれば教えてください。	企画課	一説では温暖化や乱獲、また川の状態が変わってきて、生息環境が変化しているということも言われております。様々な要因が複雑に絡み合っていることから、1つ要因をあげることは難しいですし、またそれを改善することで解消できるということでもありませんので、なかなか難しい問題だと考えております。
11	30		自伐林業を増やしたかったら、複層林にしていくとか、クヌギなどの広葉樹を出しやすい山にしていこうとか、針葉樹に偏った植林が、例えば河川環境を悪くしている要因があるのであれば、そこを変えていくように町として力を入れていくとかそういった方向性が見えたら良いなと思いました。	農林水産課	計画書に細かく記載はできませんが、もちろん戦後脈々と続いてきましたスギ・ヒノキ一辺倒では無理であろうということは多くの方が考えていることでありますし、最近では国産の成長の早い木を植えてみたり、町内においてもクヌギの生産というところでは、シイタケの栽培の面からも強く求められているところでもあります。担当課の方でも個別に林業の計画を立てていく予定もございますので、その中で森林環境譲与税を活用しながら、このまちにあった林業というものを検討してまいりたいと考えています。

12	36	本町の商店街の衰退というところも非常に問題視しているところですが、方針のところは商工業振興の方針を示しとあるのですが、実際に商店街の方と同じ方向を向いて進めているのか、また理解をして進めているのか。	にぎわい創出課	商工会の方とは一定連携をとって行っているつもりであります。やはり商店主の高齢化もあり、なかなか思うように進まないところもありますが、皆様の声をいただきながら、一緒に進めていければと考えております。
13	36	製品出荷額は、前期計画の数字が何百億円という数字で、桁が一桁多いが、今回の何十億円という数字が正解ということでよいか。	企画課	そのとおりです。8ページの表も修正しております。
14	37	本町商店街のことが書かれてありますけれど、昭和50年ごろはいろんな店が沢山あり、すごく賑やかだったわけですが、だんだんと大きなお店（ドラッグストアなど）が来て、本町のお店が衰退していく一方だと思えます。四万十町に住む人間としては、すごく寂しいなと思うところ。これからそういった大きなお店がきたりする計画はありますか。	にぎわい創出課	大きな店舗が来る予定があるかということについては、今のところ聞いてはいたしません。昔からいうとインターネットの普及など皆さんの生活が様変わりしています。すべてのお店を残していくということは難しいとは思いますが、商店街の良さというものを残していきたいと考えておりますのでよろしくお願いします。
15	38	四万十町の大きなブランドである四万十川の自然を生かした取組（キャンプや自然体験など）を継続していただき、関係人口や交流人口の増加を図り、地域振興につなげていただきたい。	企画課 にぎわい創出課	キャンプ場の整備も含め、四万十川の自然体験など四万十町へ足を運んでいただけるよう継続して取り組んでまいります。
16	45	指標ところで、地元中学生の町内高校入学率について、令和2年度は20.3%を令和8年度に60%までもっていくということで書かれておりますが、こういったことをやることでここまで地元高校に残る高校生を育てていくのかということについて教えてください。	企画課	現在、「じゅうく」では大学進学希望者を募りまして、通塾いただくことで、大学への進学率や学力を上げていこうという取組を行っております。また、高校におけるICTの利活用も含めて、高校の魅力化に努めているところです。
17	51	芸術文化・奨学学習・スポーツの推進というところで、前回の計画では＜芸術・文化＞ということで書かれてあったのが、今回＜文化財＞ということに名称が変わっているがなぜか。	企画課	現在文化的施設の建設ということを進めてきている中で、芸術という分野では美術館を中心として今後の方策を説明した方が分かり易いのではないかとということで、あえて文化財という項目を別出しして、分けて記載をさせていただいています。

18	61	下から4行目	近年ということばが使われているが、アユの漁獲量などが減少しているのはかなり前からなので表現を変えたらどうか。	企画課	近年の字句を削除いたします。
19	67		前期の計画で、建築物の安全性の確保という施策がなくなっているがどうしてか。	建設課	建築基準法に基づく完了検査等については、県の建築主事が行う業務となっており、町が実施していないためということと、また、住宅の耐震化にや耐震改修に対する支援については、70ページの地震・津波対策の強化のところで、個人住宅やブロック塀の耐震化の記述があるため、削除しました。
20	72	上から2行目	質の高い町職員を育成しますとありますが、「質」という表現を例えば「資質」とか「〇〇能力の高い」とかいうように変えてはどうか。	企画課	「自治に向き合う質の高い町職員を育成します」⇒「まちの課題に正面から向き合い、町民から信頼される町職員を育成します」等の表現に変更します。
21	全体		どの項目にも課題がかかれておりますが、その課題について具体的な取組はなかなか書きにくいところもあるかと思いますが、課題に対して具体的な施策が示されてないところもあります。	企画課	全体的に見直しを行います。
22	全体		よく見ていくと前期計画であった目標値が後期計画の方で全くなっている箇所があります。事情があって新しい指標をつくって取り組んでいくということだと思いますが、前回と比較ができないところもあったりして、少しわかりづらいところもあります。	企画課	計画書として見やすい内容となるよう検討いたします。

23	全体		まちづくり基本条例が振興計画のベースになっていますので、その中で情報の公開、住民の参画・協働であったり、そういう意味では役場だけがこの計画を進めていくということではなくて、役場も議会も住民も一緒になってこの計画を進めていくことが必要だと思います。そういった点を意識して後期の中では住民も関わっていきながら、この計画を進めていくということで、住民の理解を得られるような計画の策定の仕方が必要かなと思います。	企画課	指標のところ、住民参画の内容も検討したいです。また、計画の策定自体に住民がかかわるということも今後検討していかなくてはいけないと感じています。
24	全体		前期の計画に対する評価というところが今回の資料ではわかりづらいところがあるのかなと思いました。できれば分野ごとに何がどれぐらいできていて、何ができなかったのか、その課題は何なのかというところが見えてくれば、分野ごとの次の施策につなげていくという説明が、分かり易くなるのではないかと思います。	企画	計画書にどう落としこんでいくのかということも含めて検討させてください。
25	その他		今後、AIやロボットが人に代わって仕事をていく時代になってくる。エネルギーの自給についても、考えていくことが大事になると思うが。	企画課	エネルギーの自給につきましては、今後検討していかなければいけない課題だと思っていますし、SDGsの推進というところでも、今後のまちの方針というものをきちんと打ち出していく必要があるかと思っています。今後検討していきたいです。
26	その他		減速する社会（どんどん人口が減り、高齢化が進んでいく意味）の中で、高齢者の生活支援であったり、行政コストを抑えていくための考え方として、国の進めているスマートシティ型のものを考えているか。	企画課	今のところ明確にそちらを目指すということで舵をきっているということではないですが、近い将来検討する必要があることは認識しており、今後検討させていただきたい。

27	その他		千葉県のみすみ市は、オーガニック給食がすごいスピードで進んだらしいです（まずは貯蔵がきくお米から無農薬栽培に取り組んだということ）。食の安全に対して関心があるのは、やっぱり子育て世代だと思いますし、そういったニーズは一定数あるのではと思います。	企画課 学校教育課	<p>本町の学校給食においては、食材である米、肉、野菜等は可能な限り地産地消を促進する方針です、特に野菜類については、町内の生産者団体、各農業者グループの方々と定期的な打合せ等を通じて、可能な減農薬の安全・安心な食材の提供を受けて調理を実施しています。</p> <p>この様な中、オーガニック給食の導入については、大きく3点の課題があります、1点目は、食材の供給面で、窪川給食センターでは玉葱、胡瓜など主力野菜は1日で50kg近くを必要としています。</p> <p>2点目は、食材の規格・形状について各センター共に様々な調理機械を使用している関係で一定の規格品が必要となります。</p> <p>3点目は、食材の購入価格の関係です、給食食材費は、保護者の負担となっているため、出来る範囲で低価格の食材の発注に努めています。</p> <p>以上の様な課題があり導入に向けては、今後、オーガニック野菜の生産面、供給体制などの状況を確認しながら、検討する必要があると考えております。（参考までに以前学校教育課に確認した内容を記載しています）</p>
28	その他		現在のコロナワクチンの接種率は。	健康福祉課	<p>接種対象者 15,157人</p> <p>1回目接種 67.79%(10,274人)</p> <p>2回目接種 57.46%(8,709人)</p>
29	41	下から7行目	児童数の減少が著しい施設（保育所等）の統廃合の検討を含め、計画的な施設整備が必要との記述がありますが、具体的な計画があれば教えてください。	生涯学習課	<p>まだ具体的な検討に入っておりませんが、長期的に検討していかななくてはいけないということで記載しております。</p> <p>まずは小学校の統廃合が先ということになります。</p>
30	43		指標のところで、ICT教育機器の電子黒板やタブレットのことが載っていますが、一部のタブレットなどの機器については、今年度中には整備をされるのではないかと考えられますが、そのあたりの現状について教えてください。	学校教育課	<p>国が進めているGIGAスクール構想というものがありまして、1人1台のタブレットというものを国が推し進めています。小学校3年生から中学校3年生までで、1人1台のタブレットについては整備ができており、今年の2学期から運用を始めるように準備しているところです。</p>

31	43	下から2行目	入学者数の減少が続いている町内2校の高校の活性化とありますが、窪川高校については平日も休日も生徒をみかけることがないです。地元の窪川高校の魅力は、大学進学の実績だけではなく、クラブ活動の充実もあると思いますがいかがですか。	企画課	大学の進学率だけが高校の魅力というふうには考えておりません。クラブ活動の充実も取り組むべき課題ではあると思いますが、実質指導者の確保や、生徒がどういったクラブ活動を望んでいるのかといったところも検討しながら進めなくてはいけませんので、高校側と協議しながら、町としてできる支援は行っていきたいと考えます。
32	44		主な個別計画のところですが、四万十町立小中学校教職員の働き方改革推進プランというものが出来ていると思いますが、これには入らないということでしょうか。	学校教育課	今年度作成をしていく計画となっております、まだ作成途中ということですので、こちらには記載はしておりません。
33	44		施策のところですが、学校や教育委員会で取り組んでいることが網羅的に書かれていると思いますが、内容によって施策をまとめるなど、順番を変えてはどうでしょうか。	学校教育課	検討させていただきます。
34	44		デジタルを使えば使うほど、子どもの身体性といいますが、体を使って何かを習得していくということが見落とされていくのではないかと心配しています。人間である以上肉体をもっているわけで、そこを育てていくということをどこかに書き込んでいただきたいなと思います。	学校教育課	検討させていただきます。
35	45		以前生涯学習課に個人で自分のスキルを磨くような講座なり、そういうのがありますかということを知りましたが、エクセルとかワードとかの講座は人気がなく、結局はあまりできていないという話を聞いたことがありました。貧富の差がなく、誰でも自由に利用できる図書館という立ち位置がすごく弱いような気がしています。図書館ということの表記はここではされないのでしょうか。	企画課	例えば、図書館とか美術館ということであれば、いつでもいける時間にいけば、学芸員がいたり、司書がいたりするわけですが、そういった形でお手伝いができるということがあれば、それが望ましいと思いますし、現在文化的施設の方でもそういったサービス計画を検討しているところだと思います。それについては、51ページのところで一定触れられていると思いますし、今後そういった点について煮詰めていって、計画書への載せ方についても検討させていただきます。

36	45		今現在進行中の文化的施設ということ以前に、図書や文化的施設のなものについての意識があまりにも見方が低いように感じられますので、今回の文化的施設がどうなるということは関係なくて、別個に文言として力を入れてほしいなというのがあります。	企画課	検討させていただきます。
37	51		四万十町はなかなか広いので、講座などに来たくてもこられない方もいると思います。多分もう実施されているのかも分かりませんが、ライブ配信だとかケーブルテレビを使って、講座などを地域に届けていくということは必要ではないかなと思います。	生涯学習課	ライブ配信等についてはまだやっておりませんが、持ち帰らせていただいて、方法についてもケーブルテレビさんと協議させていただいて検討してみたいと思います。
38	47		指標の中に、集落活動センターの整備地域数というのがありますが、四万十町は今3カ所あるわけですが、目標は5地域となっています。残りのところで、予定している地域が分かっておれば教えていただければ。	企画課	当初集落活動センター事業が始まった段階で、町の方針として、四万十町内に5地域を目標に整備をしていきましようということになっていたかと思います。そのような形で進んできておりまして、その数値を変えていないということになります。
39	47		現況と課題で、「本町では、行政区や集落ごとの自治活動に加えて、福祉分野や環境分野のボランティアなど」とありますが、環境ボランティアというのは誰がやっているのでしょうか。ボランティアとしてやらなくても、本人が気づけばきれいにするのが普通だと思いますが、ボランティアとしての活動が行われているところがあれば、どのような形で行っているのか教えてください。	企画課	通常の集落の活動である自治活動があるのですが、それに加えて集落ごとに環境分野でボランティア的に活動していただくという意味の標記となっています。個別に環境ボランティアという方を募っているわけではございません。



40	47		<p>集落活動センター事業について、県の事業としてサポートが受けれるのは最初の3年ぐらいだと思います。そのため、その後の経営が心配で、集落活動センターの取り組みに踏み出せないということなんです。その後維持していくということは普通の人にはとてもハードルが高いことだと思いますが、町として支えてあげるといえるのかどうか教えてください。</p>	企画課	<p>現状では4年目からの金銭的な支援は基本的にはないということです。ただし、活動そのものについての助言ですとか、様々な町としての関わりは続けていきますし、例えば当初からやっていた活動とまったく違う新たな活動を開始する場合については、その新たな活動に要する費用の一部を支援するといったことについては、今年度から開始したということをございまして、まったく手を離すところから、ちょっと方向を見直したところがあります。</p>
41	49		<p>性的少数者についての問題を町としても、その存在をしっかりと認識し、人権も尊重していくことを盛り込んでいただけたらいいと思います。</p>	町民課	<p>現在町において基本的人権についての考え方、教育のあり方や普及啓発活動について、どのように取り組んでいくかということで、条例の制定に向けて検討を進めているところです。そのあと、来年度以降になりますけれど、条例が策定されましたら、具体的な計画もつくっていく予定となっております。</p>
42	51		<p>文化的施設の話もありましたが、3週間ほど前に文化的施設の現場で説明会があると聞きましたが、延期になったようですが、今度いつありますのでしょうか。また、文化的施設が建設される予定のところは線路のすぐ近くだと思いますが、騒音とかそのあたりは大丈夫でしょうか。</p>	企画課	<p>時期ははっきり決まっておりませんが、9月議会終了後10月ぐらいを目途に予定しています。また、立地場所の騒音の関係ですけれど、現在は建築技術が進んでおりまして、防音対策はしっかりできるのではないかと思います。</p>
43	51		<p>総合型地域スポーツクラブ加入率についてですけれど、例えば、B &amp; Gにある水泳とかダンスとかそういったものも入っていると思うんですが、十和地域ですと距離もかなりありますので、講師の方を十和の方へ派遣していただくとか、そういったものは今後の見通しの中であるのでしょうか。</p>	生涯学習課	<p>総合型スポーツクラブというのは、十和・大正地域には十和・大正スポーツクラブ、窪川地域は窪川スポーツクラブが担っております。十和・大正地域の活動に関しましては、十和・大正スポーツクラブがいろいろな委託事業も含め実施しております。講師の派遣等につきましては、まずは振興局の方へご相談をいただければと思います。</p>
44	51		<p>この総合型地域スポーツクラブ加入率というのは、それぞれのスポーツクラブに加入している人の割合ということになりますか。</p>	生涯学習課	<p>そのとおりです。</p>

45	53		現在のコロナ禍は人災に起因する災害といわれています。これからは、感染症に強いまちをつくるということも1つ大事になってくるのではないのでしょうか。	健康福祉課	今回の感染症につきましては四万十町では窪川病院が受け入れを行っており、コロナ患者や感染症が発生しても、一定数受け入れることができる体制は整えているところで。なお、今後につきましても医療機関や県を通じましてそういった体制を維持していけるよう努めて参ります。
46	55		四万十町通信に赤ちゃんのコーナーがありますが、町の宝としての高齢者を取り上げてくだされば、私は読みたいと思っております。これまでの生き方だとか背景だとか、何かの形で記録をしていただけたらいいなと思います。	企画課	要望として承ります。
47	55		指標のところで、宅老所・運動自主グループの開設数で目標が50カ所となっていますけれど、この開設する宅老所と運動自主グループはイコールということなんでしょうか。	高齢者支援課	宅老所と運動自主グループですが、令和2年度の状況として、宅老所が14カ所、運動自主グループが17カ所となっており、それぞれを足した合計値となります。
48	59		指標のところが前回とがらりと変わっておりますが、なぜ変わったのか教えてください。	健康福祉課	障がい者計画や令和3年度から3年間取り組む障害福祉計画、障害児福祉計画に基づき、変更をさせていただきました。指標の変更については、個別計画との調整を図ったということになります。
49	59	上から5行目	児童発達支援の充実という施策が加わっておりますが、四万十町に対象となるお子さんがどれぐらいいるのかというところを教えてください。	学校教育課 生涯学習課	特別支援学級数の設置状況ということで、昨年度の実績ということになりますが、小学校は10校で16学級、中学校は4校で6学級ということになっております。また、加配保育士の数については、認定こども園を入れて11施設で16人の加配保育士を配置しております。
50	59		学習障がいの子どもの本だと理解できないけれど、タブレットだと理解できるとかそういった子どもが一定数いると思うんですけど、そういったことは障がい福祉の充実のところには含まれないのでしょうか。	健康福祉課	具体的な支援については、第3期障害者計画、第6期障がい福祉計画等で記載していく内容だと思っております。障がい者のニーズに合わせた支援については、それぞれの計画で行うようになっており、実際そういう支援もごさいますので、そういったところに対応していきたいと思っております。

51	61		四万十川の水質は、人口は減っていても悪化しているのでしょうか。	企画課	水質検査に出てくる項目としては、ほぼ横ばい若しくはどちらかという改善傾向がみられています。例えば透明度に関しましては、昔は5mぐらい先まで見えていたのが、2mぐらい先までしか見えないということがあり、魚の数などが減っているというところで、水質が悪化しているのではないかと感覚的に捉えられているのではないかと思います。
52	61		身近なところで川の水質に貢献できるところとして、生活排水を環境負荷が少ないものに変えていくということが大切だと思いますが、洗剤とか農薬とか環境負荷の少ないものを取り入れていくことを推進していただければありがたいなと思います。	環境水道課	すごく昔には自然に配慮した石鹸で洗うとか、自然にやさしい洗剤を推進するというのもやっていたと思います。今はやっておりませんが、そういう施策も大事なことだと思いますので、持ち帰らせていただいて生かしていきたいと思います。
53	63	上から4行目	小水力発電の利活用については、有力な候補地が見つからない状況ですとありますが、どのような候補地探しをされたのか具体的なところを教えてください。	環境水道課	だいぶ前になりますが、各集落の方へ小水力発電をやってはどうかということで候補地を調べたことがあります。その時に検討したことがあったのですが、小水力は平時の見回りや日頃のメンテナンスなどが結構手間がかかるということになり、検討している地域ではできないということになったそうです。
54	63		小水力発電のことについては、四万十町の環境基本計画の方に入っておりますでしょうか。	環境水道課	環境基本計画の方にも入ってくると思いますが、現在審議会の方にかけておまして、今年計画を策定する予定となります。
55	65		情報・通信は非常に大事な分野。通信網の維持管理が非常に大事で、山とか谷とか自然の環境が破壊されると、それが元で電気が切断され一切通信ができなくなります。災害が起こった時に、いかに被害を最小限に抑えるかということで、日々のメンテナンスや自然環境も見えていったら良いと思います。	企画課	おっしゃるとおりと考えます。

56	65	上から19行目	ICTのところについては、ここで課題としてはあげられているので、施策の部分でご検討されてはどうかと思いました。	企画課	施策目標（18）のところで、追記をさせていただきたいと思います。情報通信やGIGAスクール構想など多岐にわたっておりますので、包括的にこの分野で出させていただけようかと思いました。
57	65	下から7行目	ライフスタイルの多様化等により公園に求められる機能も変化していますとありますが、具体的にどういったことが公園に求められているのかということについて教えてください。	建設課	公園というのは遊具があって、子ども達が遊ぶところというイメージが強いと思いますが、最近では四万十公社にも工夫していただき、例えば森のピアノとかそういった活動も評判が良いところです。大人も子どもも皆さんが楽しめることが求められているのではないかと思います。
58	65		特に災害の時に役立てるとかそういった機能を求められているということではないですか。	建設課	緑林公園は災害拠点施設にもなっております。もちろんそういったことも維持しつつ、通常の楽しめる場であるということで、機能的なものにしていきたいと思います。
59	69		南海トラフ大地震に備えて、特に身近なところでの応急処置を身につけておくことが必要だと思います。そういった講習に町民の皆さんが行ってみようかなと本当に思っていただけに、力を入れていただけたら。	企画課	初動の対応については、やはり自助ということで、自分の身は自分で守る、けがをしないということが基礎的な考え方となりますので、それに対する意識の啓発でありますとか、応急講習などの基礎的なスキルを身につけていくように進めていくということで、これまでも取り組んでおりますけれど、今後もなお一層取り組んでいきたいと思えます。
60	69		五差路のような場所でも、最近横断歩道のないところを渡ったり、高齢者でもシルバーカーが車道を走っていたりと、交通マナーの悪い方が増えたように思います。	企画課	関係機関と連携して、町民の交通マナーの向上に努めていきます。
61	71		協働によるまちづくりの推進で、仕組みづくりや今後の方向性について、町が示す必要はないか。	企画課	高齢化や人口減少など集落が抱える課題がある中でも、継続して協働できるまちづくりを目指します。

62	71		行財政運営の方針のところですけど、ここでも四万十町の特徴が少し薄れているような気がして気になりました。四万十町が得意としているところは行政広報だと思います。高知県の中でも一番行政広報が得意なところは、四万十町とか黒潮町だと思いますので、行政広報も協働のまちづくりの推進の中で触れられているのは若干寂しい気がしました。	企画課	検討させていただきます。
63	全体		この施策が全体の予算に対してどの程度の割合が占めているのかということが目に見えてわかればもう少しイメージが湧きやすいと思うのですが。	企画課	町の財政の細かい分析の結果については、決算審査が終わった段階で、町のホームページ等でお知らせもしております。例えば、医療費であれば何パーセントですとか、建設費で何パーセントあるというのは分かると思いますので検討させていただければと思います。
64	全体		この計画全体を眺めたときに、2021年に計画が検討されていて、2022年から2026年までの5年間の計画ということですが、どうも2018年とか2019年に作成されたような印象を受けます。というのは、今の我々のメインピックは間違いなく新型コロナウイルス感染症だと思います。これがもう、来年には終わっているような感じを受けます。気持ちとしてはそうなってほしいんですが、ところがそうはなっていないんじゃないかなと思いますし、その影響を随分引きずっているんじゃないかなと思います。	全課	新型コロナウイルスの計画書への記載について検討させてください。
65	全体		今年オリンピックの年で、これからの日本を象徴するキーワードが示されたんじゃないかなと思います。例えば、「多様性」とか、ちょっと前からありますが「共生社会」とか、これは四万十町だけではないと思いますが、こらからの時代で率先して考えるべき事が何か1つあってもいいのかなと思いました。	企画課	おっしゃるとおりだと思います。

66	全体	観光や移住について、特に移住については、県内でも四万十町が一番ですよ。その四万十町の移住、それと四万十という名前を持っている四万十町が観光も移住も施策目標の中にないというところが少し寂しい気がして、交流という言葉に入っているわけです。ぜひ、そういったものも1つ明確に項目が立っても良いのではないかという気がします。	にぎわい創出課	今回につきましては、施策目標は前期計画を引き継ぎたいと考えておりますので、次期計画で検討させていただきます。
67	全体	計画書の後ろの方になるとどうしても複合的分野になっていくと思います。そうすると一緒に入ってくるものは、時代のトレンドワークであったり、これからやらないといけないけどまだ明確に事業として立っていなかったりするものなんじゃないかなと思うわけですが、そういうところにも時代的にはフォーカスが当たってきているという感覚を受けますので、大事にしていきたいなと思います。特に、昨今の時代の移り変わりは非常に激しくて、今まで価値として認められなかったものが急速なスピード感で価値としてみんなに共有されたりだとか、いままでグレーだったものが、真っ白になったり、真っ黒になったりする時代なんですね。そういう点をこの総合振興計画でも意識されると良いかなという気がしました。	企画課	そういう視点をもって計画書の作成に取り組みたいと思います。
68	全体	行財政運営の方針のところですけど、ここでも四万十町の特徴が少し薄れているような気がして気になったんですけど、やっぱり四万十町が得意としているところは行政広報だと思います。行政広報も協働のまちづくりの推進の中でふれられているのは若干寂しい気がしました。	企画課	検討させていただきます。

69	全体		究極の目標は人口減に立ち向かう総合計画ということで、このまちに住み続けたいということやこのまちに帰りたいと思っていただけるような計画であったらいいなと思います。	企画課	そのとおりだと思います。
70	全体		この総合計画は、かなり分厚い計画だと思いますが、1つの分野の施策であっても、他の課題の解決につながるようなことがあって、地産外商の強化のところでも、四万十町は特徴的に取り組んでいるところだと思いますが、これをやることによって四万十町の基幹産業である1次産業の振興につながるだとか、移住対策のところにもつながっていくとか、産業が強くなることによって担い手の確保につながっていくとか、人材育成の部分とか、1つの施策によって、いろんなところの施策目標につながっていくので、ここで書かれてある取り組みはそう考えるとすごく分厚い内容になるんじゃないかなと思っています。	企画課	おっしゃるとおりと考えます。今後は、1つの施策で2つ、3つの課題を同時に解決することができないかという視点も頭にいれながら施策の展開も考えていきたいと思っています。
71	全体		きめ細かく施策を書かれておりますので、これをしっかりPDCAを回していくことが一番大切なのかなと思っています。また、評価をしっかりとやって、次の予算や施策の方向性に生かしていくことをやり続けるということ、この計画をフルに活用し続けるということを行政の皆さんも住民の皆さんも一緒になって進めていただければと思います。	企画課	PDCAをしっかり回せるよう取り組みます。
目指すまちの将来像、キーワード、その他のご意見など					
72	その他		人口減に対してどう対処していくかということで、当然増やしていくことや人口減を遅らせていく施策はとられているわけですが、どうしても減ってしまう中でどうしていくかという視点を大事にしてほしい。		

73	その他	<p>それぞれの施策の目標はすごくいいと思いますが、どうしてもそれが違う仕事で競合したりとか、対立してしまうところがあると思います。例えば文化的景観と新エネルギーとか、防災とか、今もそこのバランスというのをきちんととっていて、皆さんがご苦労してやられていると思いますが、そういった部分を計画にきちんと書き込んでおくというのがいいのかなと思います。</p>		
74	その他	<p>これからも認知症の方が増えていくと思います。施設に入れない方も沢山いらっしゃると思うので、完全な健康でない立場でも皆さんがそれぞれ自分らしく社会で生きていけるように、少しでもお役に立てるようがんばりたいし、そういう四万十町であり続けてほしいです。</p>		
75	その他	<p>この先どう考えても人口が倍増することはあり得ないならば、小さい町にしかできないことを模索して知恵を絞ってほしい。現在の窪川高校の実践は、表面に出にくいのが、小さい町でなければできないことを見つける為のヒントが沢山あるのではと思います。その中でも、給食実施はその最たる取り組みであると思います。（現在69名中50名の生徒が喫食中）実現には、町の物心両面にわたる援助があつてのことですが、町民の中にも知らない人が沢山いると思うので是非広く知らせてほしい。</p>		



76	その他		<p>障害児の項目がありましたけれど、保育所でも先ほど加配保育士が16名ついているという話がありましたが、高校でも一見ちゃんと受験にも合格して、何も変わりがないように思うのですが、中には授業についていけない子どもさんもいます。そういった現状も皆さんに知っていただくことが大事ではないかなと思いました。</p>		
77	その他		<p>実感として思ったことですが、高齢化とか人口減とかそういったことは全国共通していて、これが四万十町の総合計画だという特徴をいきなり感じるのですが、もしかしたら薄いかもしれないと思った時に、少し強引なのかもしれませんが、各施策とかの上のところに四万十川ということをつけて計画をしていくと、結局は四万十川を中心に考えてみたら、山のことや農業のことや観光のことなども必ず関わってきますし、福祉や教育についてももう少し四万十町の特色ある計画書ができて、町民からみても興味や愛着が湧くのではないかと思います。</p>		
78	その他		<p>四万十町は1次産業のまちで、87%が山地と聞いてますけど、やっぱり地産地商でみんなが町内の物を食べて、少しでも町内の収入でやり繰りをするというすてきなまちに近づけたらいいなと思います。</p> <p>それから、四万十川がきれいなところなので、ホテルのまちを目指したら良いと思います。子ども達にもホテルを見せて、そういった自然体験などもさせてあげたいなと思います。</p>		

79	その他		目指すまちということですが、簡単に言うと自然が豊かな美しいまちということになると思います。具体的に言うと、ごみがないとか、興津や松葉川温泉とか川を含めてそれを生かすまちづくりができたらと思います。		
80	その他		一番言いたいことは、安心して暮らせて、安心して死ねる地域ということが本当に大事だと思っています。年寄りが幸せで生きていけるということは、移住してきた方も自分はずっとこの地域に住んでいて安心して生きていけるんだと思います。移住してきたけど又出ていってしまうということの1つには、ずっとここにいて大丈夫だろうかということもきっとあると思いますので、年寄りが幸せに暮らしているということが大事だと思いました。		
81	その他		地産地商の話がありましたけれど、農協の方としても地域で食べていくものについては地域で作っていきけるような取り組みや体制をとっていきたいと考えております。みどり市もやっておりますけれど、生産者も高齢になって減ってきている状況ですので、そういったところを今後拡大していけるようにしたいと思っております。		
82	その他		これから10年先、20年先の四万十町を考えると、子育て世代の住みやすいまちであってほしいと思います。それには、やはり子育てしやすい環境とか、保育・教育の一層の充実を目指してほしいと思います。		
83	その他		人権については今条例の策定について取り組みがされているということで、計画の方も立てる予定ということですので、ぜひ広報活動について充実していただけたらと思っています。		

84	その他		<p>コロナウイルス感染者の対応を準備しておく必要があるんじゃないかなと思っています。窪川病院で一定受け入れをしていただけるということは聞いておりますけれど、自宅療養や宿泊施設という数も相当増えている状況です。町の方も感染者の対応をどうするかということを考えているとは思いますが、こういったことを施策の中にも書いてもいいんじゃないかなと思っています。</p>		
85	その他		<p>人口減少対策というのは全ての振興計画に関わっていくもので、すごく大きな課題だと思います。この計画の中では分散的に書かれているので、できれば整理して人口減少対策に関する項目を新しく設けるとか、施策体系の中に入れ込むとか検討いただければと思います。</p>		
86	その他		<p>災害に強いまちづくり、それが住みやすいまちになると思います。</p>		
87	その他		<p>目指すまちということですが、私の立場からしまして、商工業・農業ということになりますが、四万十町は基幹産業であります農業が非常に強みでもあります。今コロナの影響により、商店さんも非常に苦しい状況となっています。そういった施策も含めて、まちと商工業、農業が手を取り合って前に進んでいけるような、そんな計画にしてほしいと思います。</p>		
88	その他		<p>四万十町は、山が財産でもありますし、同じく農業の方も農地などの財産がかなりあると思います。ただ、休耕地が山間部で広がっていると思いますので、そこらへんをもう少し改善できたらいいかなと思います。</p>		

89	その他		<p>目指す姿というところでは、町民1人1人が自分ごととして考えれるまち、やはりこういう計画を立てても行政や専門職任せではなかなか住みやすいまちにはならないと思います。そういうところを自分ごととして考えれるまちにしていけたらと思います。</p>		
90	その他		<p>10年先、20年先は何が起こるか分かりません。今回のコロナの感染についてもそうだと思いますし、自分より若い者やそれぞれの年代がその時その時の状況に対応できる、順応できる子ども達が1人でも多く育ててもらいたいなと思います。</p>		